

B-18 被服製作指導上の一試み(その1)
ひとえ長着の裁断指導について

県立新潟女子短大 小野日出子

1. 中学校、高等学校の被服製作において、ひとえ長着裁断法の指導を効果的能率的にするための方法を求める意味で、次の実験を行ない考察を加えた。

2. ひとえ長着の構成を観察理解するための分解標本を与えて指導した組と、与えないで指導した組との理解度を比較するため、まず学習に入る前に生徒をA, B, C, Dの4つの群にわけ〔テストI〕,〔テストII〕,〔テストIII〕を行なった。

- 〔生徒群〕: A 製作経験のあるもの
B 製作したことはないが、説明をきいたことのあるもの
C 未経験で製作に対して関心のないもの
D 未経験であるが製作意欲をもっているもの

〔テストI〕各部の名称の理解度をしらべる。

〔テストII〕裁断についての説明の終わったあと、C群, D群について次のテストをする。(1) 布の形と組み合わせ。(2) 並幅による裁ち方と、その場合、必要以上に縫い代の多い部分はどこか。(3) きずのある部分の裁断上のくふう。

〔テストIII〕製作終了約1ヵ月後に、知識の定着度をみるテストを行なう。

3. 〔テストI〕の結果 各部の名称を知っている程度は、A, B, D, Cの順である。誤答率はB群が比較的高い。

〔テストII〕の結果 標本を与えた組は(1), (2)についての理解度がやや優れている。